

## 令和 5 年度第 2 回島根支部評議会議事概要報告

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開 催 日              | 令和 5 年 1 0 月 1 7 日（火曜日） 15：00～16：45                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 開 催 場 所            | サンラポーむらくも 2 階 瑞雲の間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 出 席 者              | 伊中評議員、宇畑評議員、太田評議員、小川評議員、梶谷評議員、古津評議員、丸山評議員、宮本評議員（議長）、村川評議員<br>（五十音順）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 議 題                | <p>1. 令和 6 年度保険料率について</p> <p>2. 島根支部の健康課題の報告および課題解決に向けた事業方針について</p> <p>3. その他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 議 事 概 要<br>（主な意見等） | <p>【議題 1】令和 6 年度保険料率について<br/>事務局より資料に基づき説明。</p> <p>《主な意見》<br/>論点 1. 平均保険料率について</p> <p>【被保険者代表】<br/>以前から意見していることであるが、社会保障という観点からみると全国一律の保険料率であるべきという考えであり、都道府県単位保険料率自体に反対であるということは述べておきたい。<br/>都道府県単位保険料率が前提で話をするのであれば、協会けんぽの財政の赤字構造が簡単に変わらないところからすると、安心して制度を利用できるようにするには準備金は必要であるし、ある程度の負担は必要なものとする。<br/>しかしながら、中小企業の賃金はさほど上がった実感はなく、これ以上の保険料負担は厳しいため、平均保険料率は 10%を維持するべきという考えである。</p> <p>【学識経験者】<br/>医療給付費が年々増えていくというシミュレーションをみると、平均保険料率を 10%に維持することに消極的に賛成せざるを得ない状況である。<br/>今回の論点とはずれるかもしれないが、医療給付体制のあり方を抜本的に見直さなければ、現在の医療保険自体の持続性が危うくなり、本当に必要な方が必要な医療を享受できなくなることも危惧される状況である。このような状況では、保険料率を下げるという選択はなく、10%の平均保険料率を維持するべきであると考えている。</p> |

**【事業主代表】**

島根県の産業を支えている建築、土木、製造業関係の中小企業は非常に厳しい経営状況である。平均保険料率を下げるという選択肢が早い段階で協会けんぽの財政赤字を招くということであれば、せめて平均保険料率の 10%は維持していただきたいという考えである。

**【学識経験者】**

協会けんぽの試算の中でも賃金の伸び率を高く見積もったものがあつたが、島根県内の状況を聞く限り、給料が上がった実感がないうえに、物価は全国レベルで上がっているため、益々苦しくなっているのが実情であり、企業や個人も保険料負担が重くなっている。

ただし、今後の医療給付費が構造的に増加していく状況下においては、平均保険料率を 10%に維持せざるを得ないと考えている。

**【被保険者代表】**

協会けんぽの試算でいくと、平均保険料率を 10%に維持したとしても、いずれ準備金が枯渇し、財政が赤字に転じる時が来るという見込みであることに将来的な不安を感じている。平均保険料率を 10%に維持することにより、当面の間は財政の安定が見込めるということであろうが、将来的に財政が赤字に転じた場合はどうなるのか教えていただきたい。

**【事務局】**

平成 21 年に準備金残高が赤字に転じた際は、借入を行い、保険料率も大幅に上げることとなった。また、国庫補助率を上げるよう国に働きかけを行った。

**【事業主代表】**

事業所の厳しい財政状況からすると、都道府県単位保険料率のもととなる平均保険料率は下げることができるものであれば下げていただきたいのが正直なところである。中長期的な安心のために平均保険料率の 10%維持はやむを得ないということはある程度理解できるが、安心のためにどれくらい準備金を積み上げておけば良いのかについては、より正確なシミュレーションを用いて加入者の方に説明する必要があるものと考えている。

今回の協会けんぽのシミュレーションについては、国内外の情勢等、不確定要素が多いため、その妥当性については何とも言えないが、そのシミュレーションと実績等を比較検討しながら修正をし、今後はより精度の高いシミュレーションを行っていただきたい。

また、協会けんぽの財政については、高齢者医療制度への拠出金が支出の大部分を占めていることが問題であると考えるので、政策的な話ではあるが、その負担のあり方等を見直すことについても国への働きかけが必要ではないかと考えている。

【事務局】

高齢者医療制度の負担については、実際に給付を受ける高齢者の負担はわずかであり、ほとんどが保険者からの拠出金等で賄われていることに問題を感じる部分がある。その点では、評議員の方の意見にもあるように、制度そのものの見直しについて国へ訴えていくことも必要なことではないかと感じている。

論点 2. 保険料率の変更時期について

令和 6 年 4 月納付分（3 月分）から変更で特段の反対意見はなし

【議題 2】島根支部の健康課題の報告および課題解決に向けた事業方針について事務局より資料に基づき説明。

《主な意見》

【学識経験者】

年々増加が見込まれる医療給付費を抑える努力が必要な中、島根県と共同で実施しているウォーキングイベントは、加入者の方の健康増進に寄与する良い取り組みであるので、継続して実施していただきたい。

今回の事務局の説明で初めてこのイベントについて知ったが、広報はどの程度行われているのか。

【事務局】

イベント広報チラシを 3 万枚程度印刷し、島根県の協力により県内の学校や公民館等に配布している。また、事業所向けのチラシや健康保険委員向けの広報誌、メールマガジンなどの媒体にて案内している。さらに、山陰中央新報の新聞でも全面広告を行っている。

【被保険者代表】

近年の協会けんぽ島根支部の広報については、分かりやすい広報となるよう力を入れていることが見受けられ、評価できるものと考えている。様々な広報媒体を駆使して広報しているが、それらの広報を継続して行っていくことが多くの情報を届けるためには重要になってくるため、引き続きお願いしたい。

イベントの広報等については、新聞広告よりも安価に行えるデジタル媒体の活用をお勧めしたい。新聞とは違い、双方向の媒体であるため、使い方によっては、イベントを実施した後の反応を拾ってみることも可能となる。

【被保険者代表】

今年度のウォーキングイベントについては、自身の子供がチラシを持って帰っ

てきたため、今回のイベント広報の効果を実感しているところである。

このイベントは、加入者が運動習慣を付けるきっかけを作るために行われていると思うが、今後は、参加者が継続して運動を行える工夫をしていく必要があると感じている。秋のみではなく、春にもイベントを実施するなど検討されたい。

**【学識経験者】**

血糖、血圧リスクが高いことに対する取り組みとして、運動習慣との関連を分析していく方針が示されたが、食事との関連について事業方針はあるか。問診票の項目にも食事に関する設問があるので、分析の対象となるのではないかな。

**【事務局】**

協会けんぽ発足当初から島根支部の健診結果データの特徴として、血糖リスクが高いことは継続して課題となっており、専門家のアドバイスを受けながら、特に運動との関連が大きいことに焦点をあてて事業を展開してきた。今回の意見を受け、食事との関連性についても運動と併せて分析を進め、来年度以降の事業展開に活かすことを検討したい。

**【学識経験者】**

私も、食事が糖代謝に関連があるものと考えている。協会けんぽの加入者には様々な職業の方がおり、職業によっても健康リスクや運動習慣、食事の傾向が違ってくるのではないかと考えている。そのことから、今後協会けんぽが行う分析においては、職業別にその特徴を見ていくことを検討していただきたい。そのうえで、食事等に関して特徴的な傾向がみられる職種に対して対策を講じていくとよいのではないかな。

**【事務局】**

業態別の分析は可能であるので、今後検討していきたい。

**【事業主代表】**

今後の事業展開に当たっては、年齢、性別、職種などの属性を絞って行っていくかどうか。ある程度絞って事業展開をしなければ、当事者の認識が薄くなり、効果が見込めなくなる可能性があるためである。また、健康啓発広報についてもタイムリーに当事者に届くように工夫をしていただきたい。

さらに、島根県と連携しながら事業を進めていくにあたって、県が行っている良い取り組みはどんどん取り込んで事業に活かしていただきたい。

**【事業主代表】**

島根支部の現状をみると、島根県の県民性が関係しているように感じている。車社会が根付いており、運動習慣が身につかないのではないかなということ

や、人の目を気にする傾向があり、メンタルヘルス不調を放置する傾向にあるのではないかという感想を持ったところである。

【学識経験者】

外来医療費について、「精神及び行動の障害」が多いことについては、島根県の国民健康保険も同じ傾向であると聞いている。国民健康保険のデータでは、若年層の精神疾患が多いこともわかってきており、メンタルヘルス対策においては、職場のみならず、家庭での取り組みの必要性も感じているところである。

また、悪性新生物による入院医療費が高いことについては、がんの早期発見早期治療が求められると考えるので、健診の普及促進に改めて取り組んでいただきたい。

【議題 3】 その他

特になし

特 記 事 項

・ 次回開催：令和 6 年 1 月予定